



# みんなで子育て No.5

## 企業内家庭教育研修を実施

### ヨツハシ(株) 研修テーマ:「気づく! 高める! 活かす! コミュニケーション力」

実施日: 令和元年8月2日(金) 13:30~14:30 講師: 岐阜聖徳学園大学 教授 安田 和夫 氏

ヨツハシ(株)では、本年度で11回目の企業内家庭教育研修の実施となりました。経済同友会・知事部局・教育委員会の3者が協定を結んだ時から、現社長が採り入れられました。実にありがたいことです。そのうち安田先生の講演は6回目です。社員の皆さんが楽しみにしている様子がよく感じられました。



《研修内容》 場所: 2階 社員食堂 参加者約90名

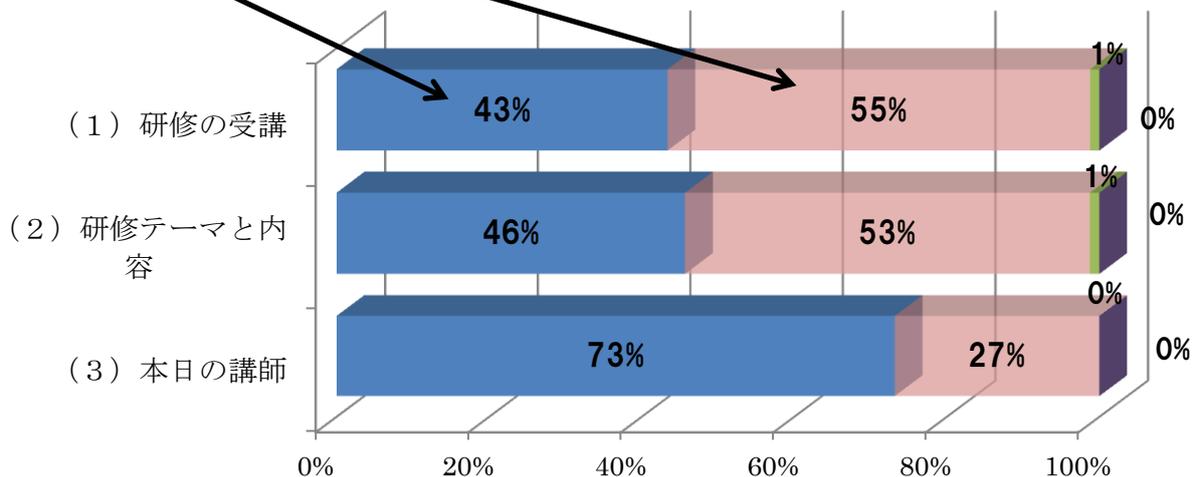
- ・四橋社長が講師紹介をされ、それを受けて安田先生がPTA「わが子の歩み」に寄稿された「多様性尊重の教育」の中にある「いじめ」についてのお話をされました。
  - ・「キャ」への反応ゲームは盛り上がり素晴らしい。
  - ・グループで「共通点を探す」はユニークな発想が出ました。
  - ・「ヨツハシをどれだけ愛しているかクイズ」の完答にビックリ
  - ・ボーリングのピン爆発、3人一組でジャンケン等の活動が満載。
- 職場で思いっきり笑える機会は、まずない。でも、ここでは笑える関係があります。仕事や立場が違っても、同じように活動できる良さがある職場だというまとめをされました。
- ◎活動の中に、話し合う・認め合うなどコミュニケーションの基本的な活動が含まれており、テーマに即した内容で、会社の良さを感じる研修でした。

#### 感想

- ・普段しゃべらない他部署の方と一緒に盛り上がって楽しく研修を受けられました。
- ・一昨年、昨年ともに参加できておらず、初受講でした。こんなに同僚と大笑いしたのは入社以来だったので、またそんな機会がほしいです。
- ・コミュニケーションの大切さを改めて感じました。
- ・お話が上手で毎年楽しく参加しています。研修の目的を話してくださるので、その意識をもって聞くことができます。

#### アンケートより

■ 1 大変よい ■ 2 よい ■ 3 あまりよくない ■ 4 よくない



## 研修テーマ：「家庭教育担当になっても困らない家庭教育学級のもち方」

実施日：令和元年8月2日（金）9:00～10:30 講師：環境生活政策課 課長補佐 山本 勇二 氏



### 《研修内容》 参加者12名

- ・視覚的なクイズによって、見る人によって見えるものが違うことへの理解
- ・アイスブレイクの実際
- ・家庭教育について、法的な位置づけ
- ・家庭教育学級リーダー研で話された「非認知スキル」について
- ・岐阜地区の家庭教育学級の事例紹介
- ・子育てサロン及び家庭教育プログラムの実践



### 《感想》

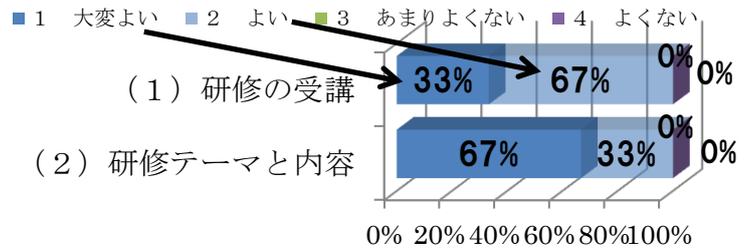
- ・家庭教育について知らなかったことをたくさん学ぶことができ、よかったです。今回教えていただいた以外の家庭教育の方法も教えていただきたいと思った。
- ・子育てで不安や悩みをもつ保護者が多い中、もっと気軽に学校教育の現場などでサロン等に参加することが大切だと感じた。
- ・自分も一人の親として、知識や情報が必要だと感じた。

### 【研修について】

小中学校における家庭教育学級は、保護者と学校の連携によって行われます。学校側の担当者は事務手続き等の研修はありますが、家庭教育学級で具体的に何をやるのかの研修は少ないです。そこで教職員も情報や経験を学ぶ機会が必要と考えました。

今回の内容は、リーダー研修会で行われた内容を深めたものが多くあり、家庭教育学級の法的な位置づけも学べたり、学級懇談でも使えたりできる内容がありました。

参加者の意見からも好評であった事が分かります。

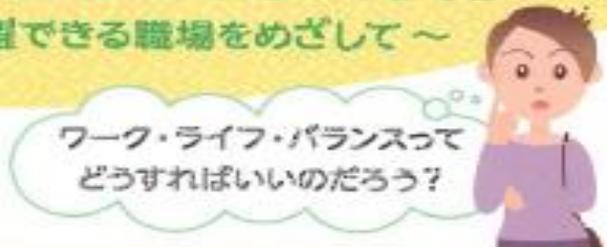


# 企業内家庭教育研修

～すべての従業員が活躍できる職場をめざして～



男女共同参画って  
どうすればいいんだろう?



ワーク・ライフ・バランスって  
どうすればいいのだろうか?

すべての従業員の方が  
心身ともに元気に勤務できる  
職場の環境作りを  
お手伝いします!



岐阜県では、家庭教育力の向上と地域社会全体での子育ての推進を目的に、企業・事業所と連携しながら、子育て中の親だけでなく、これから親になる従業員、子育てが一段落した従業員、管理職等、幅広い層への家庭教育研修会開催のお手伝いをしています。

### ◎ 家庭教育とは何ですか？

A 子どもの心身の調和のとれた発達のために、親またはそれに準ずる大人が子どもに対して行う教育です。

### ◎ なぜ企業で家庭教育研修を行うのですか？

A 子どもの生活習慣の改善や大人が家庭や地域の子どもたちとふれあう時間を生み出すためには、保護者や学校だけでなく企業の協力が不可欠です。また、研修を通して、大人自身がコミュニケーション力を高めたり、ワークライフバランスについて考えたり、生活習慣をととのえる大切さを学びます。これは勤務効率の向上やメンタルヘルス対策など企業としてのメリットにもなります。

企業で  
家庭教育研修!

